

東証プライム 4631

DIC株式会社

2022年度第2四半期決算説明資料

2022年8月



Member of
**Dow Jones
Sustainability Indices**
Powered by the S&P Global CSA

MSCI  MSCI Japan ESG
Select Leaders Index

MSCI  MSCI Japan Empowering
Women Index (WIN)



DIC株式会社

ハイライト

上期の振り返り

売上高

5,214億円

前年同期比 +**33.1%**

営業利益

240億円

前年同期比 △**12.2%**

- 自動車減産や中国でのロックダウンの影響を受けて一部の製品や地域で出荷の停滞が見られたが、全てのセグメントで価格対応に取り組んだ結果、大幅な増収。また、カラー&ディスプレイセグメントにおいて、前第2四半期は連結対象外であったC&E顔料事業（旧ドイツBASF社のColors & Effects顔料事業）が増収幅を押し上げた
- 上期を通して為替が円安方向に推移したことも増収の要因となった
- 原料コストや運賃及びエネルギーコストの増加の製品価格への転嫁が十分に追い付かず、減益。C&E顔料事業は、統合後の物流問題に起因した出荷遅延が解消し黒字となった

2022年の見通し

売上高を上方修正

営業利益を下方修正

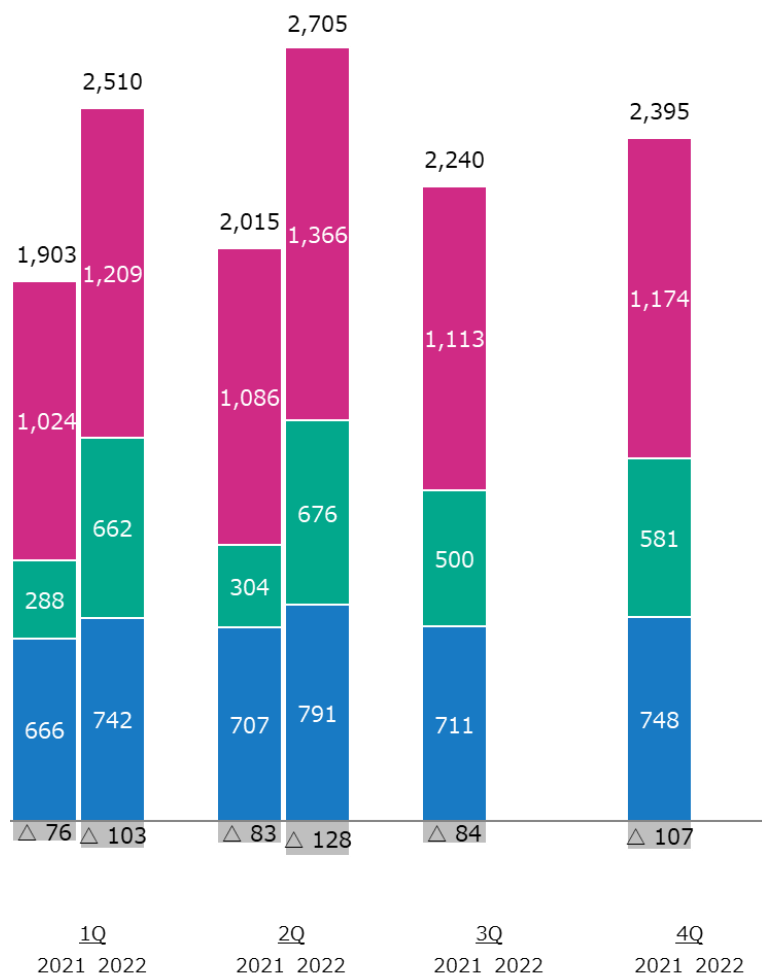
配当は変更無し

- 原料コストの増加や運賃及びエネルギーコスト増加への継続的な価格対応、為替前提の見直しにより、売上高を1兆1,000億円に上方修正
- 営業利益は、全社的な価格対応の動向や、主にパッケージング&グラフィックの直近の業績を反映し、500億円に下方修正
- 配当は年間100円で変更無し

当社グループの決算期は、海外子会社・国内会社ともに1月1日から12月31日までの12ヶ月を連結対象期間としています。当期は、2022年1月1日から6月30日までの6ヶ月間を連結対象期間として記載しています。

セグメント別四半期業績推移

売上高 (億円)

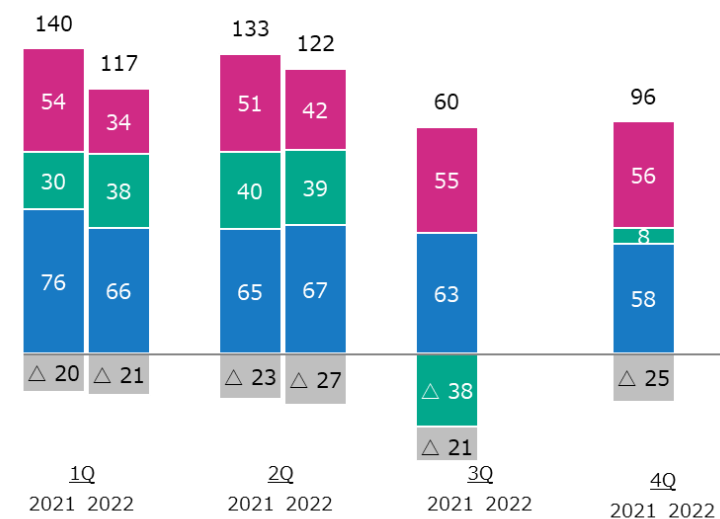


営業利益 (億円)

通期の見通し (500億円) に対する進捗率

	1Q	2Q	3Q	4Q
2022 (%)	23.4	47.9		

- パッケージング&グラフィック
- カラー&ディスプレイ
- ファンクショナルプロダクツ
- その他、全社・消去



連結損益計算書

(億円)	2021 2Q	2022 2Q	増 減	増減比	現地通貨ベース 増減比
売上高	3,918	5,214	1,296	+ 33.1%	+ 26.8%
売上原価	△ 3,011	△ 4,154	△ 1,143		
販売費及び一般管理費	△ 634	△ 820	△ 187		
営業利益	273	240	△ 33	△ 12.2%	△ 10.2%
営業利益率	7.0%	4.6%	-		
金融収支	△ 4	△ 9	△ 5		
持分法投資損益	9	10	1		
為替差損益	5	21	16		
その他	0	0	△ 0		
経常利益	282	262	△ 21	△ 7.4%	-
特別利益	11	13	2		
特別損失	△ 71	△ 35	36		
税前利益	222	240	17		
法人税等	△ 50	△ 88	△ 38		
四半期純利益	172	151	△ 21		
非支配株主に帰属する四半期純利益	△ 12	△ 7	4		
親会社株主に帰属する四半期純利益	160	144	△ 16	△ 10.2%	-
EBITDA*1	382	474	92	+ 24.2%	-

*1 EBITDA：親会社株主に帰属する四半期純利益 + 法人税等合計 + 支払利息 - 受取利息 + 減価償却費 + のれん償却額

特別損益の内訳	2021 2Q	2022 2Q
特別利益		
固定資産売却益	3	9
投資有価証券売却益	-	4
関係会社株式及び出資金売却益	8	-
特別損失		
減損損失	-	△ 10
固定資産処分損	△ 12	△ 10
リストラ関連退職損失	△ 2	△ 9
事業撤退損	-	△ 5
買収関連費用*2	△ 57	-

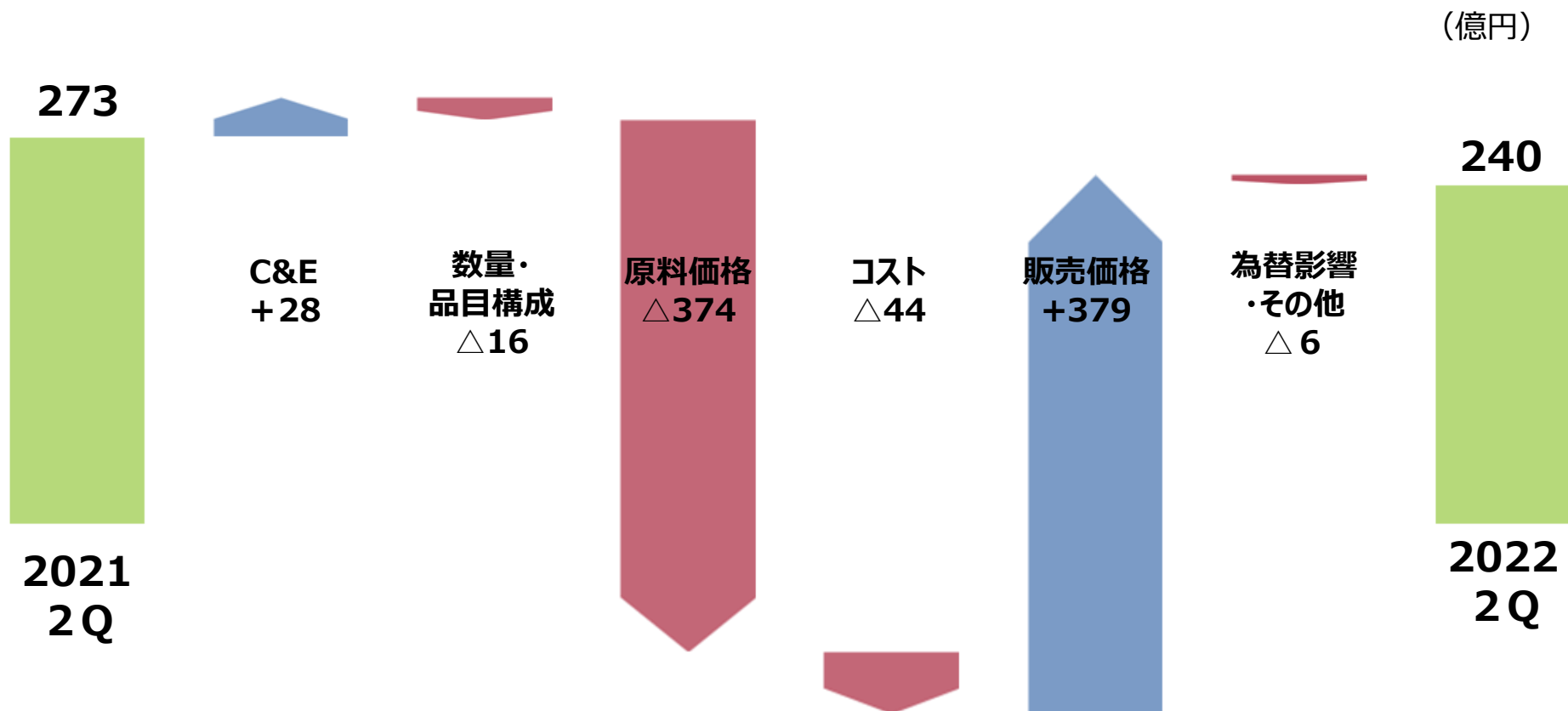
*2 C&E買収関連

■ 平均レート

	2021 2Q	2022 2Q
USD/円	107.68	123.25
EUR/円	129.63	134.89

営業利益増減要因

- C&E顔料事業は塗料用やプラスチック用が欧州における需要減少を受けて出荷数量が伸び悩んだが、計画に近い利益となった
- 自動車減産や中国でのロックダウンの影響を受けて一部の製品や地域で出荷の停滞が見られた
- 原料コストの増加や運賃及びエネルギーコストの増加に対する価格対応を進めたものの、転嫁が追い付かず減益となった



財務体質

(億円)	2021 期末	2022 2Q末	増減
ネット有利子負債	3,460	4,303	843
自己資本	3,459	4,068	609
ネットD/Eレシオ *1	1.00倍	1.06倍	
(ネットD/CLレシオ *2)	(47.6%)	(49.4%)	
自己資本比率	32.3%	31.1%	
1株当たり純資産 (円)	3,654.61	4,297.71	

*1 ネットD/Eレシオ： ネット有利子負債／自己資本

*2 ネットD/CLレシオ： ネット有利子負債／（ネット有利子負債＋純資産）

! 会計基準変更に伴うリース債務のオンバランス化による増加 117億円

■ 期末レート

	2021 期末	2022 2Q末
USD/円	115.10	136.37

セグメント別業績

(億円)	売上高					営業利益					営業利益率	
	2021 2Q	2022 2Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2021 2Q	2022 2Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2021 2Q	2022 2Q
パッケージング&グラフィック	2,110	2,574	464	+ 22.0%	+ 17.2%	105	77	△ 28	△26.9%	△16.9%	5.0%	3.0%
日本	551	627	76	+ 13.8%	+ 13.8%	26	22	△ 4	△15.4%	△15.4%	4.8%	3.6%
米州・欧州	1,282	1,621	339	+ 26.5%	+ 21.2%	64	44	△ 20	△31.0%	△13.0%	5.0%	2.7%
アジア他	347	408	61	+ 17.6%	+ 6.3%	18	14	△ 4	△24.0%	△30.6%	5.1%	3.3%
連結調整	△ 69	△ 81	△ 13	-	-	△ 2	△ 3	△ 0	-	-	-	-
カラー&ディスプレイ	592	1,339	747	+ 126.2%	+ 107.8%	70	78	8	+ 11.0%	+ 10.3%	11.8%	5.8%
日本	140	193	53	+ 37.9%	+ 37.9%	34	36	2	+ 4.9%	+ 4.9%	24.6%	18.7%
海外	491	1,222	731	+ 148.8%	+ 125.5%	35	41	6	+ 17.1%	+ 15.5%	7.2%	3.4%
連結調整	△ 40	△ 77	△ 37	-	-	0	△ 0	△ 0	-	-	-	-
ファンクショナルプロダクツ	1,374	1,532	159	+ 11.6%	+ 7.4%	141	133	△ 8	△5.5%	△8.3%	10.3%	8.7%
日本	978	1,076	97	+ 10.0%	+ 10.0%	89	90	1	+ 0.9%	+ 0.9%	9.1%	8.3%
海外	528	612	84	+ 15.8%	+ 4.8%	53	45	△ 8	△15.6%	△23.2%	10.0%	7.3%
連結調整	△ 133	△ 155	△ 22	-	-	△ 1	△ 1	△ 0	-	-	-	-
その他、全社・消去	△ 158	△ 231	△ 73	-	-	△ 43	△ 48	△ 5	-	-	-	-
連結合計	3,918	5,214	1,296	+ 33.1%	+ 26.8%	273	240	△ 33	△12.2%	△10.2%	7.0%	4.6%
USD/円	107.68	123.25		+ 14.5%		107.68	123.25		+ 14.5%			
EUR/円	129.63	134.89		+ 4.1%		129.63	134.89		+ 4.1%			

※C&Eの業績はカラー & ディスプレイ セグメントに含まれている

パッケージング&グラフィック

売上高

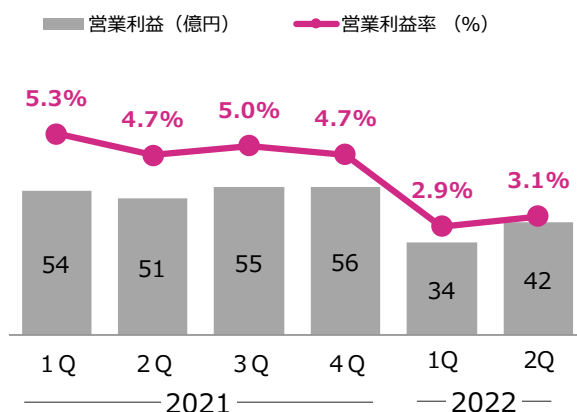
- 原料コスト増加に対する価格対応を進めた結果、増収。当社の印刷用インキの約7割を占めるパッケージ用インキは数量ベースでも前年を上回った
- 22年1月に買収したイタリアの接着剤事業（※）も順調に推移した

営業利益

- 日本での価格改定の進展により1Qよりも営業利益率は改善したが、原料コスト増加のスピードに追い付かず減益となった

(億円)	売上高					営業利益					営業利益率	
	2021 2Q	2022 2Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2021 2Q	2022 2Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2021 2Q	2022 2Q
パッケージング&グラフィック	2,110	2,574	464	+ 22.0%	+ 17.2%	105	77	△ 28	△26.9%	△16.9%	5.0%	3.0%
日本	551	627	76	+ 13.8%	+ 13.8%	26	22	△ 4	△15.4%	△15.4%	4.8%	3.6%
米州・欧州	1,282	1,621	339	+ 26.5%	+ 21.2%	64	44	△ 20	△31.0%	△13.0%	5.0%	2.7%
アジア他	347	408	61	+ 17.6%	+ 6.3%	18	14	△ 4	△24.0%	△30.6%	5.1%	3.3%
連結調整	△ 69	△ 81	△ 13	-	-	△ 2	△ 3	△ 0	-	-	-	-

四半期営業利益/営業利益率



主要製品の売上高推移

製品	増減比	説明
パッケージ用インキ*	+ 19%	各地域で価格対応を進めた結果、増収。22年1月に買収したイタリア接着剤事業が順調に推移し増収に寄与
出版用インキ*	+ 11%	日本および米州・欧州では出版需要が減少し数量ベースでは前年を下回ったが、各地域での価格対応により増収
ジェットインキ	+ 8%	屋外広告（看板・ポスター）やバナーなどの産業用およびダイレクトメールなどの商業印刷用の出荷が好調
ポリスチレン	+ 35%	行動規制解除によりスーパーでの食品包装用の需要が減少したが、価格改定による単価上昇により大幅な増収
多層フィルム	+ 15%	数量は前年並みだが、価格改定による単価上昇により増収

*現地通貨ベース増減比

※ 2022年1月ニュースリリース：イタリアの接着剤・ポリマメーカーSapici S.p.A.およびその持株会社を買収

カラー&ディスプレイ

売上高

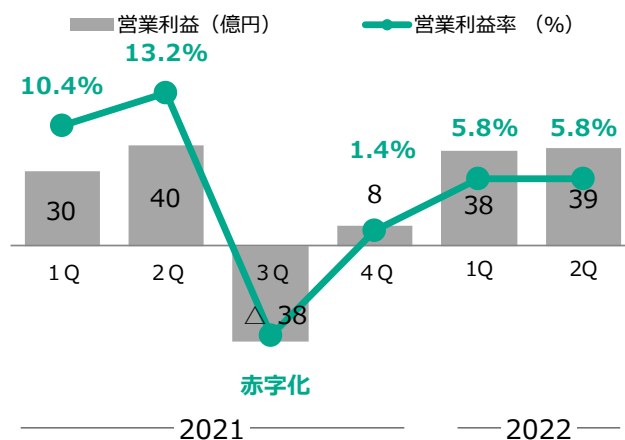
- C&E顔料事業が加わったことにより、特に塗料用、プラスチック用および化粧品用顔料が大幅な増収となった
- 欧州を中心に塗料用およびプラスチック用顔料の出荷が減速し、C&E顔料事業を除くと数量ベースでは前年を下回った

営業利益

- 2Qからの欧州での需要減少に加え、ディスプレイ用顔料およびスペシャリティ用顔料などを中心に一部の高付加価値品の出荷に停滞が見られたが、原料コスト増加の製品価格への転嫁やC&E顔料事業の黒字化により全体としては増益を確保

(億円)	売上高					営業利益					営業利益率	
	2021 2Q	2022 2Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2021 2Q	2022 2Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2021 2Q	2022 2Q
カラー&ディスプレイ	592	1,339	747	+ 126.2%	+ 107.8%	70	78	8	+ 11.0%	+ 10.3%	11.8%	5.8%
日本	140	193	53	+ 37.9%	+ 37.9%	34	36	2	+ 4.9%	+ 4.9%	24.6%	18.7%
海外	491	1,222	731	+ 148.8%	+ 125.5%	35	41	6	+ 17.1%	+ 15.5%	7.2%	3.4%
連結調整	△ 40	△ 77	△ 37	-	-	0	△ 0	△ 0	-	-	-	-

四半期営業利益/営業利益率



主要製品の売上高推移

製品	増減比	説明
顔料 塗料用	+ 242%	C&E顔料事業の売上が加わり増収だが、欧州を中心に自動車塗料用の出荷が減速
プラスチック用	+ 348%	C&E顔料事業の売上が加わり増収だが、2Qから欧州では需要が減少
インキ用	+ 49%	C&E顔料事業の売上が加わり増収
化粧品用	+ 177%	C&E顔料事業の売上が加わり増収。欧米に続いてアジアでも需要回復が見られる
ディスプレイ用	△ 4%	パネルの在庫調整により出荷停滞
スペシャリティ用	+ 61%	C&E顔料事業の売上が加わり増収だが、2Qから欧州では需要が減少
ヘルスケア食品	+ 1%	輸出の遅延が改善し、前年並みに出荷が回復

カラー&ディスプレイ 補足資料

カラー&ディスプレイ業績内訳（億円）

	売上高				営業利益			
	2021 2Q	2022 2Q	増減	増減比	2021 2Q	2022 2Q	増減	増減比
カラー&ディスプレイ	592	1,339	747	+ 126.2%	70	78	8	+ 11.0%
既存事業	592	638	46	-	70	50	△20	-
C&E	-	701	701	-	-	28	28	-

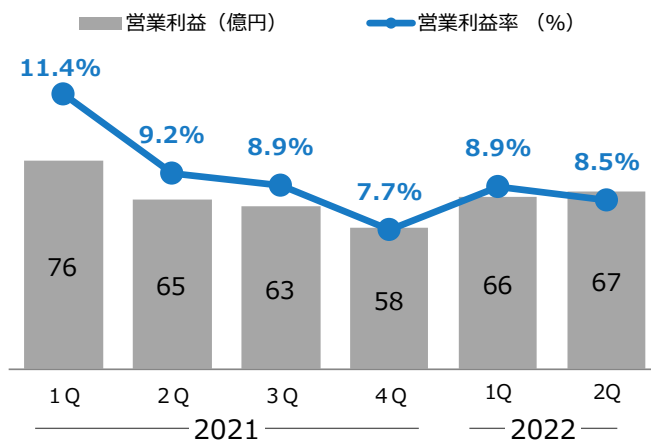
- C&E顔料事業は塗料用やプラスチック用が欧州における需要減少を受けて出荷数量が伸び悩んだが、通期では当初計画通りの営業利益32億円を見込む
- 既存事業は、ディスプレイ用顔料やスペシャリティ用顔料など一部の高付加価値製品の出荷停滞や欧州での需要減少により、減益となった

ファンクショナルプロダクツ

- 売上高**
 - 自動車関連は中国ロックダウンや減産影響を受けて出荷が停滞したが、デジタル関連は引き続き堅調な出荷となった
 - 主に中国での出荷停滞により、全体としては数量は前年を下回った
- 営業利益**
 - 継続的な価格対応を行っているが、運賃、エネルギーおよび原料コスト増加に対する転嫁が追い付かず、減益

(億円)	売上高					営業利益					営業利益率	
	2021 2Q	2022 2Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2021 2Q	2022 2Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2021 2Q	2022 2Q
ファンクショナルプロダクツ	1,374	1,532	159	+ 11.6%	+ 7.4%	141	133	△ 8	△ 5.5%	△ 8.3%	10.3%	8.7%
日本	978	1,076	97	+ 10.0%	+ 10.0%	89	90	1	+ 0.9%	+ 0.9%	9.1%	8.3%
海外	528	612	84	+ 15.8%	+ 4.8%	53	45	△ 8	△ 15.6%	△ 23.2%	10.0%	7.3%
連結調整	△ 133	△ 155	△ 22	-	-	△ 1	△ 1	△ 0	-	-	-	-

四半期営業利益/営業利益率



主要製品の売上高推移

製品名	増減比
エポキシ樹脂	+ 15%
ウレタン樹脂	+ 5%
アクリル樹脂	+ 15%
水性樹脂	+ 19%
ポリエステル樹脂	+ 19%
UV硬化型樹脂	+ 15%
PPSコンパウンド	△ 0%
工業用テープ	+ 15%
中空糸膜モジュール	+ 28%

デジタル関連は、UV硬化型樹脂、工業用テープ、中空糸膜モジュールが好調に推移。自動車関連ではPPSコンパウンド等が自動車減産影響を受けた

2022年度：通期の業績見通し

- エネルギー及び原料コスト増加への継続的な価格対応、為替前提の見直しにより、売上高を上方修正
- 欧州での需要停滞や自動車減産の影響により出荷数量は当初計画を下回る見通しとなり、営業利益見通しを下方修正
- 年間配当は変更なし

(億円)	2021	2022 見通し	増減比	現地通貨 ベース 増減比	前回見通し		2021	2022 見通し
売上高	8,554	11,000	+ 28.6%	+ 20.5%	10,400	ROIC*2	4.8%	4.5%
営業利益	429	500	+ 16.6%	+ 17.5%	540	ネットD/Eレシオ *3 (ネットD/CLレシオ *4)	1.00倍 (47.6%)	1.05倍 (49.2%)
営業利益率	5.0%	4.5%	-	-	5.2%	年間配当/株 (円)	100.0	100.0
経常利益	438	510	+ 16.6%		535	配当性向	216.8%	36.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	44	260	+ 495.6%		280			
1株当たり純利益 (円)	46.12	274.68	-		295.81			
EBITDA*1	690	900	+ 30.4%		880			
設備投資・投融資	1,682	820	△51.2%		830			
減価償却費・のれん償却額	381	470	+ 23.5%		440			
平均レート	USD/円	109.75	+ 17.5%		121.00			
	EUR/円	129.73	+ 9.5%		137.00			

*1 EBITDA：親会社株主に帰属する当期純利益 + 法人税等合計 + 支払利息 - 受取利息 + 減価償却費 + のれん償却額

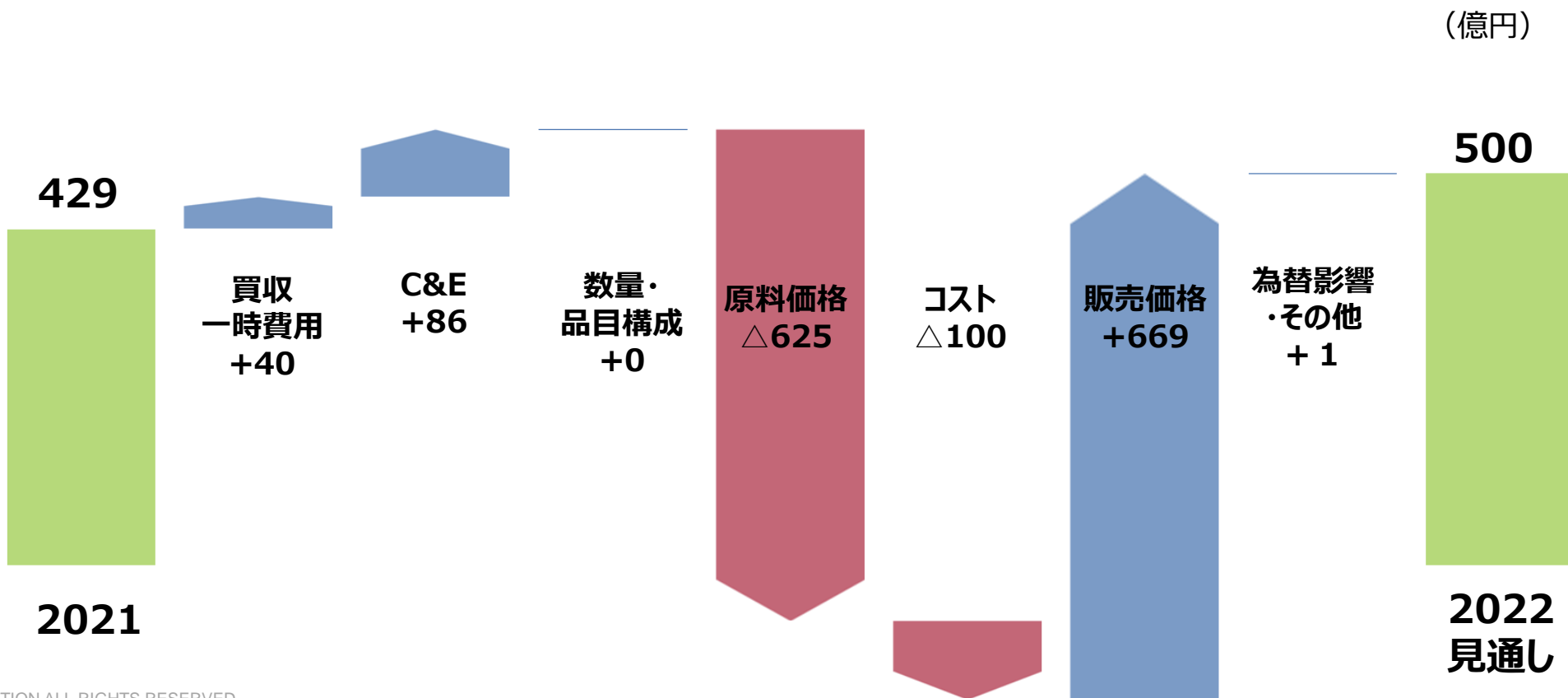
*2 ROIC：営業利益 × (1 - 実効税率28%) / (ネット有利子負債 + 純資産)

*3 ネットD/Eレシオ：ネット有利子負債 / 自己資本

*4 ネットD/CLレシオ：ネット有利子負債 / (ネット有利子負債 + 純資産)

2022年度：営業利益増減要因

- C&Eの売上高1,368億円、営業利益32億円（シナジー含む）を見込む
- 8月10日発表時点の前提となる原油価格（WTI）は引き続き\$100近辺を想定するが、円安の進行による国産ナフサ価格の上昇やユーティリティ価格上昇により原料価格やコストは上昇が継続
- 販売価格への転嫁を進めるが、欧州での需要停滞や自動車減産の影響により出荷数量は当初計画を下回る見通しとなり、営業利益見通しを540億円から500億円に下方修正



2022年度：通期のセグメント別業績見通し

(億円)	売上高					営業利益					営業利益率	
	2021	2022 見通し	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2021	2022 見通し	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2021	2022 見通し
パッケージング & グラフィック	4,398	5,468	1,070	+ 24.3%	+ 19.1%	216	179	△ 38	△17.4%	△5.2%	4.9%	3.3%
日本	1,147	1,353	206	+ 18.0%	+ 18.0%	48	51	3	+ 5.2%	+ 5.2%	4.2%	3.8%
米州・欧州	2,651	3,366	715	+ 27.0%	+ 21.7%	132	94	△ 38	△28.8%	△6.4%	5.0%	2.8%
アジア他	731	910	179	+ 24.5%	+ 10.9%	38	34	△ 4	△10.1%	△18.6%	5.2%	3.8%
連結調整	△ 130	△ 160	△ 30	-	-	△ 2	△ 1	2	-	-	-	-
カラー & ディスプレイ	1,672	2,696	1,024	+ 61.3%	+ 40.9%	40	140	100	+ 253.6%	+ 231.4%	2.4%	5.2%
日本	326	376	50	+ 15.2%	+ 15.2%	69	62	△ 6	△9.3%	△9.3%	21.1%	16.6%
海外	1,457	2,486	1,029	+ 70.6%	+ 46.2%	△ 28	77	105	黒字化	黒字化	-	3.1%
連結調整	△ 112	△ 166	△ 54	-	-	△ 2	0	2	-	-	-	-
ファンクショナルプロダクツ	2,833	3,345	512	+ 18.1%	+ 11.7%	262	279	17	+ 6.6%	+ 1.5%	9.2%	8.3%
日本	2,013	2,208	196	+ 9.7%	+ 9.7%	161	186	25	+ 15.4%	+ 15.4%	8.0%	8.4%
海外	1,083	1,434	351	+ 32.4%	+ 15.5%	101	93	△ 7	△7.0%	△20.4%	9.3%	6.5%
連結調整	△ 263	△ 298	△ 35	-	-	0	△ 0	△ 0	-	-	-	-
その他、全社・消去	△ 349	△ 510	△ 160	-	-	△ 89	△ 98	△ 9	-	-	-	-
連結合計	8,554	11,000	2,446	+ 28.6%	+ 20.5%	429	500	71	+ 16.6%	+ 17.5%	5.0%	4.5%
USD/円	109.75	129.00		+ 17.5%		109.75	129.00		+ 17.5%			
EUR/円	129.73	142.00		+ 9.5%		129.73	142.00		+ 9.5%			

※C&Eの業績はカラー & ディスプレイ セグメントに含まれている

主なトピックス - サーキュラーエコノミーへの対応 -

ニュースリリース
<https://www.dic-global.com/ja/news/2022/>

■ 当社の注力市場である食品パッケージ市場において循環型社会の実現を推進

7月

DICとSAP、ブロックチェーンを使用した廃プラスチックのトレーサビリティシステム構築の実証実験を開始

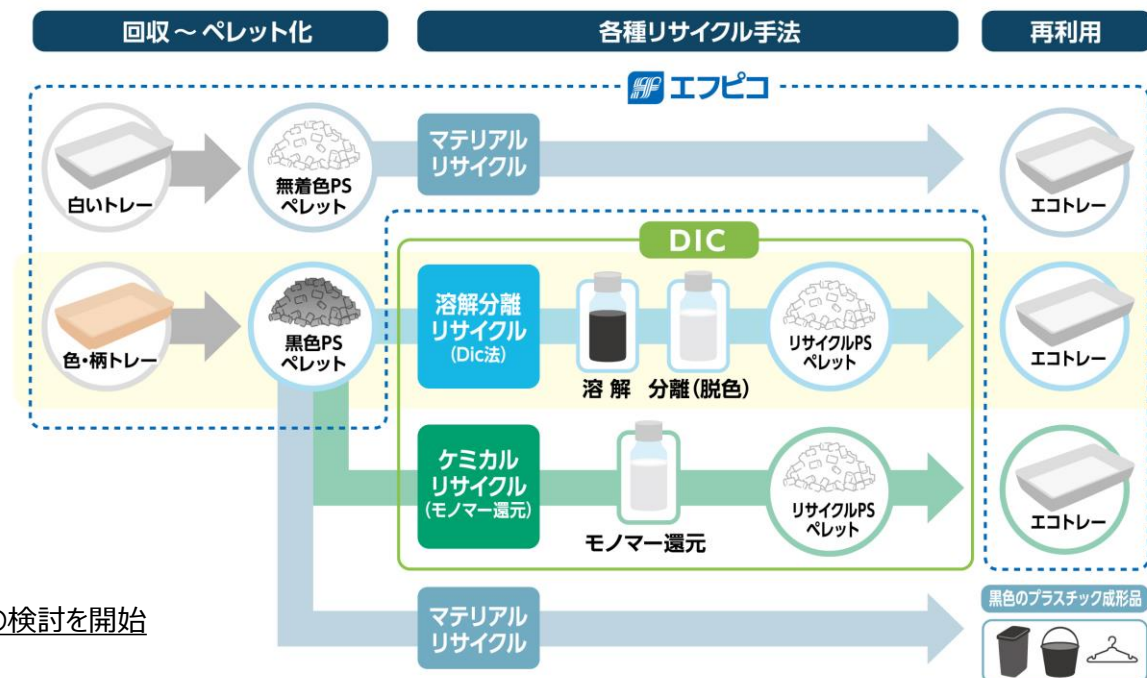
- 生産の初期段階からサプライチェーンに沿って原材料を追跡し、リサイクル原料の製造工程や検査工程、物性情報や品質情報などを可視化することを目指す
- 顧客が再生プラスチックを使用する際、その製品にどの程度のリサイクル原料が含有しているか提示することが可能となる

8月

DICとエフピコ、プラスチック製食品トレーの完全循環型リサイクルに向け世界初の新たな溶解分離リサイクル技術を用いた協業を開始

- DICは色柄付き発泡トレーの新たな溶解分離リサイクル技術（Dic法：Deinking chemical process）を開発
- 2023年には色柄付き発泡トレーなどの市場回収品のリサイクル（PCR：Post Consumer Recycling）を開始し、並行して進めているケミカルリサイクル（※）とのハイブリッド化を目指す

※ 2020年11月リリース
 DICとエフピコがケミカルリサイクルによるポリスチレンの完全循環型リサイクルの社会実装に向けて協業の検討を開始



主なトピックス — 事業ポートフォリオの変革 —

ニュースリリース
<https://www.dic-global.com/ja/news/2022/>

■ ファンクショナルプロダクツで事業ポートフォリオ変革の取り組みが進展

▶ コーティング用樹脂をM&Aを柱に中国・アジア地域において拡大

5月

インドIdeal社でコーティング用樹脂の新工場を建設

- 2019年4月に中堅塗料用樹脂メーカーであるIdeal社を買収し、高成長が見込まれるインド市場に本格参入
- 好調な需要を背景にフルキャパシティでの生産が継続、生産能力の拡大によりインド国内の需要増に対応。将来的には中東やアフリカへの輸出拠点としても活用する計画

7月

中国のコーティング用樹脂メーカー「Guangdong TOD New Material Co., Ltd.」を買収

- ローカルメーカーの買収により、コーティング用樹脂の世界最大の需要地である中国において事業拡大を図る
- 該社は水性樹脂等の環境規制に対応した生産能力があり、これらの製品をDICの販売網を活かしグローバルにも展開

▶ デジタル分野でニーズを先取りした機能材料を拡充

6月

革新的な活性エステル技術がエレクトロニクス実装学会の「技術賞」を受賞

- 当社が開発した高周波プリント基板用の活性エステル型エポキシ樹脂硬化剤が高速通信規格「5G」の普及に貢献したとして受賞
- 5Gの本格普及に伴い需要が大幅に増加。当該製品を含むエポキシ樹脂製品群は好調な出荷が続いている

▶ 重点事業領域への経営資源の集中

6月

アルキルフェノール製品グループにおけるPTBP事業の撤退を発表

事業セグメントと主要製品

2021年度実績数値

提供価値

パッケージング&グラフィック



売上高
4,398億円



営業利益・率
216億円
4.9%

包装材料を通じて社会や暮らしに「安全・安心」を提供する

カラー&ディスプレイ



売上高
1,672億円



営業利益・率
40億円
2.4%

表示材料を通じて社会や暮らしに「彩り」を提供する

ファンクショナルプロダクツ



売上高
2,833億円

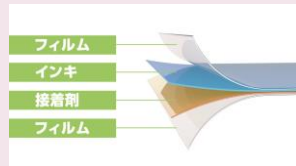


営業利益・率
262億円
9.2%

機能材料を通じて社会や暮らしに「快適」を提供する

主要製品

パッケージ用インキ



包装材料

←ポリスチレン
↓多層フィルム

接着剤



ジェットインキ



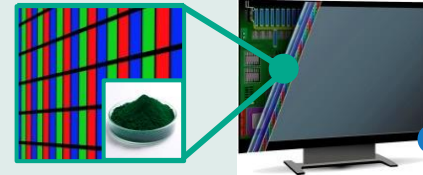
屋外看板用途



バナー用途



ディスプレイ用顔料



化粧品用顔料



スペシャリティ用顔料



農業用途



建材用途

天然系色素



塗料用顔料

プラスチック用顔料

インキ用顔料

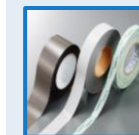


◆電気・電子やディスプレイを中心とするデジタル分野◆



UV硬化型樹脂

工業用テープ



エポキシ樹脂



中空糸膜モジュール



◆モビリティ（自動車など）を中心とする工業分野◆

水性樹脂
アクリル樹脂

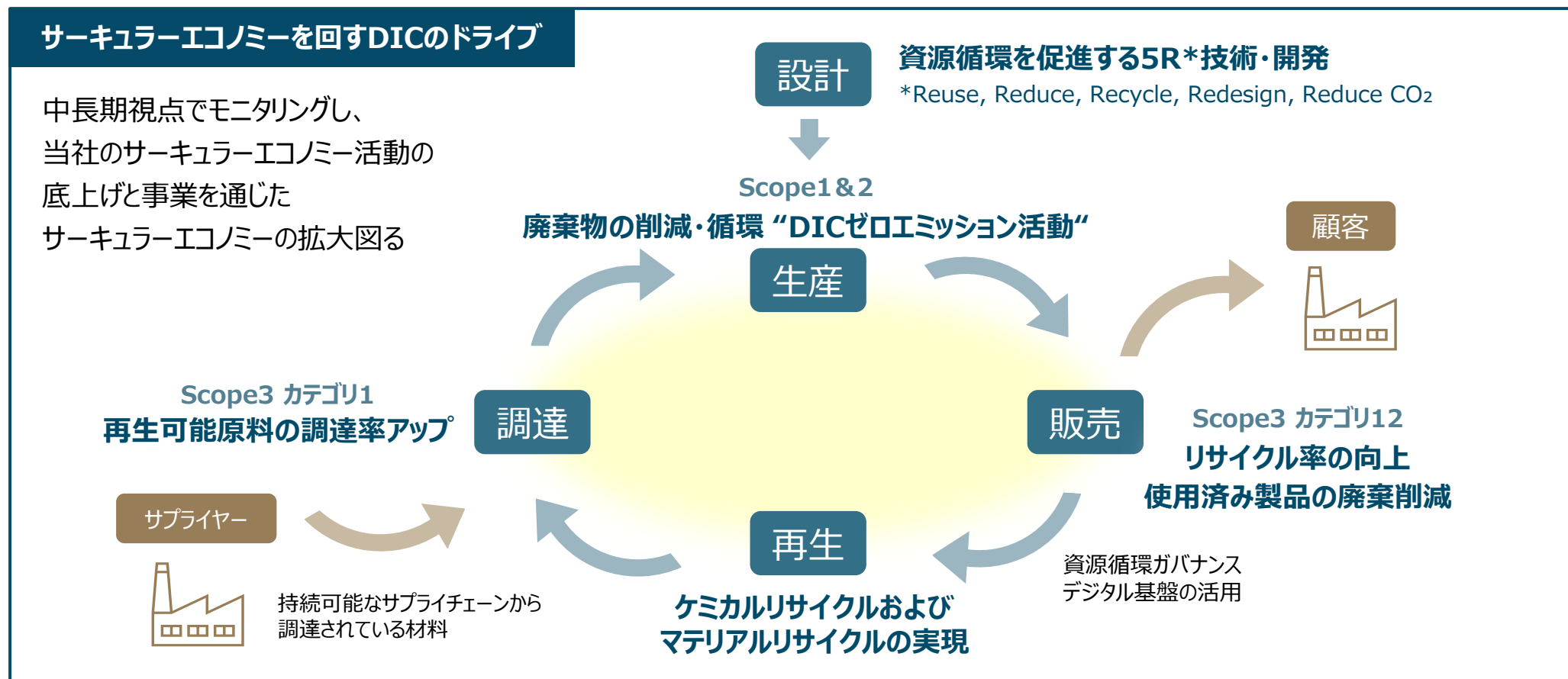
ウレタン樹脂
ポリエステル樹脂

PPSコンパウンド



サステナビリティ戦略 ~サーキュラーエコノミーへの対応~ (参考)

- 持続可能な社会実現のための重要施策の一つとしてサーキュラーエコノミーに対応
- 2030年までに容器包装の6割をリユース・リサイクルに、再生材・バイオマスプラスチックを倍増の方針 (環境省指針)
- 当社の注力市場である食品パッケージ市場において循環型社会の実現を推進



連結貸借対照表 (参考)

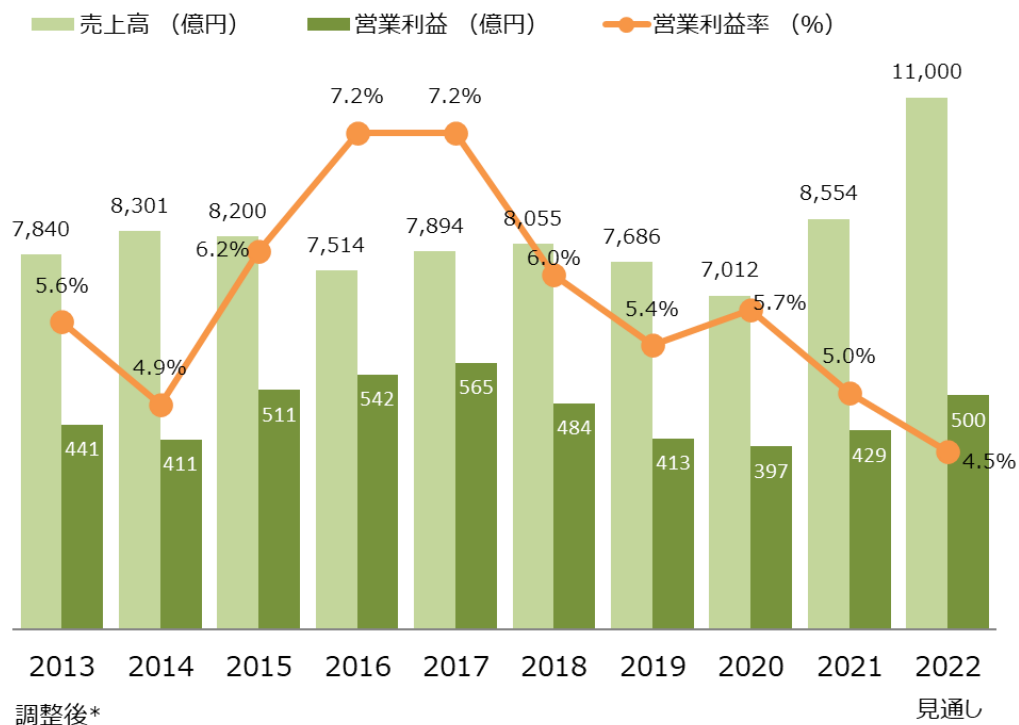
(億円)	2021 期末	2022 2Q末	増 減
流動資産	5,421	7,193	1,772
有形固定資産	3,077	3,512	435
無形固定資産	523	631	108
投資その他の資産	1,694	1,758	64
資産合計	10,715	13,094	2,379
流動負債	3,056	3,943	887
固定負債	3,849	4,736	887
負債合計	6,905	8,678	1,774
株主資本	4,039	4,133	94
その他の包括利益累計額	△ 580	△ 65	515
(為替換算調整勘定)	(△ 555)	(3)	(558)
非支配株主持分	351	348	△ 3
純資産合計	3,810	4,416	606
負債純資産合計	10,715	13,094	2,379
有利子負債残高	3,842	5,303	1,461
現預金残高	383	1,000	618
ネット有利子負債	3,460	4,303	843

連結キャッシュ・フロー計算書（参考）

(億円)	2021 2Q	2022 2Q	増 減
営業キャッシュ・フロー	304	△ 248	△ 552
投資キャッシュ・フロー	△ 1,283	△ 331	952
財務キャッシュ・フロー	1,504	1,062	△ 442
現金及び現金同等物の期末残高	960	988	28
フリーキャッシュ・フロー	△ 979	△ 579	400
運転資本の増減額	11	△ 486	△ 497
設備投資・投融資	1,447	348	△ 1,098
減価償却費・のれん償却額	167	233	66

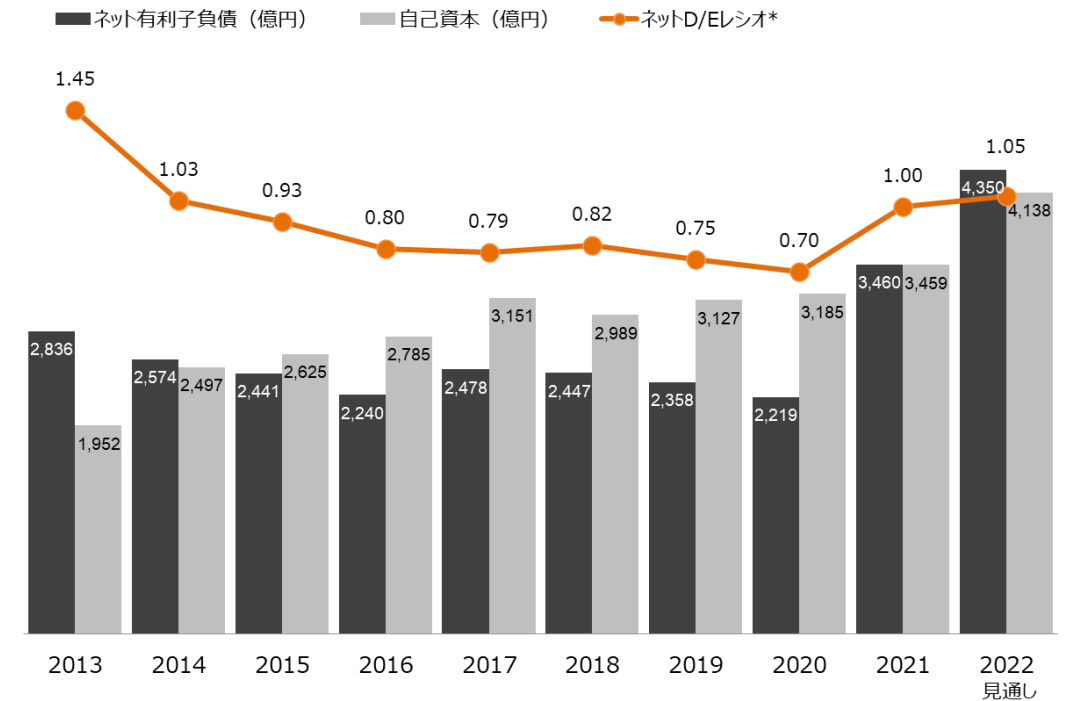
業績の推移 (参考)

業績



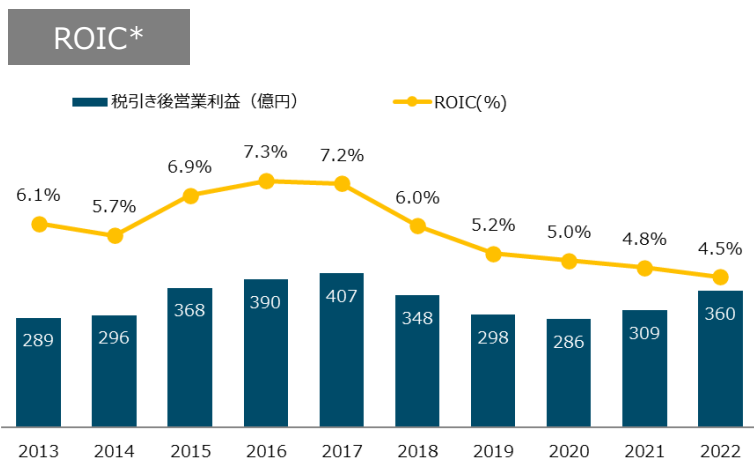
*決算期変更の影響を調整しています

財務体質

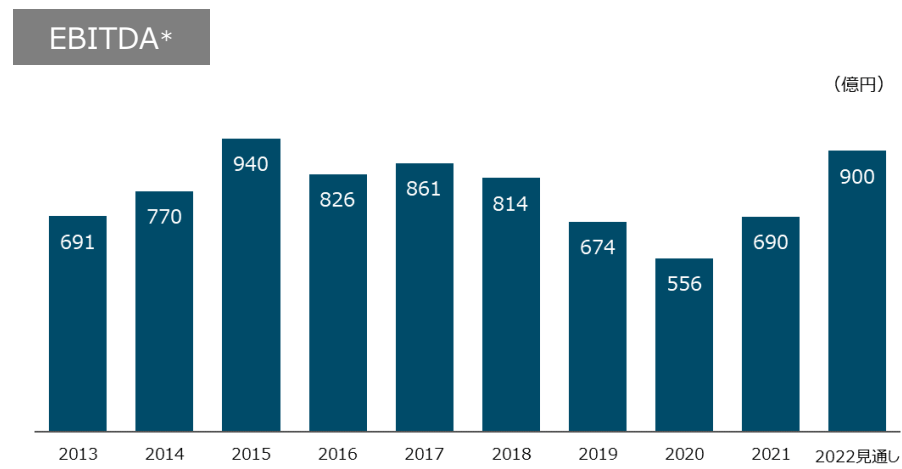


* ネットD/Eレシオ： ネット有利子負債 / 自己資本

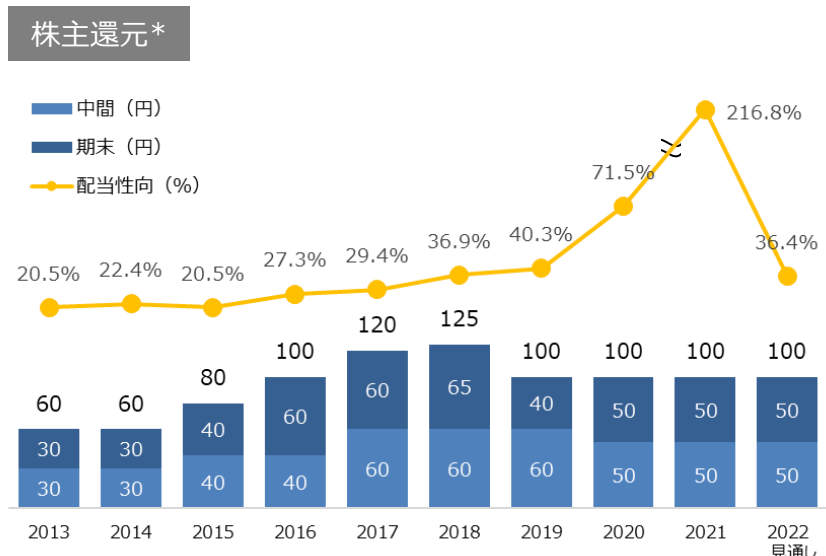
業績の推移 (参考)



*ROIC : 営業利益 × (1 - 実効税率28%) / (ネット有利子負債 + 純資産)

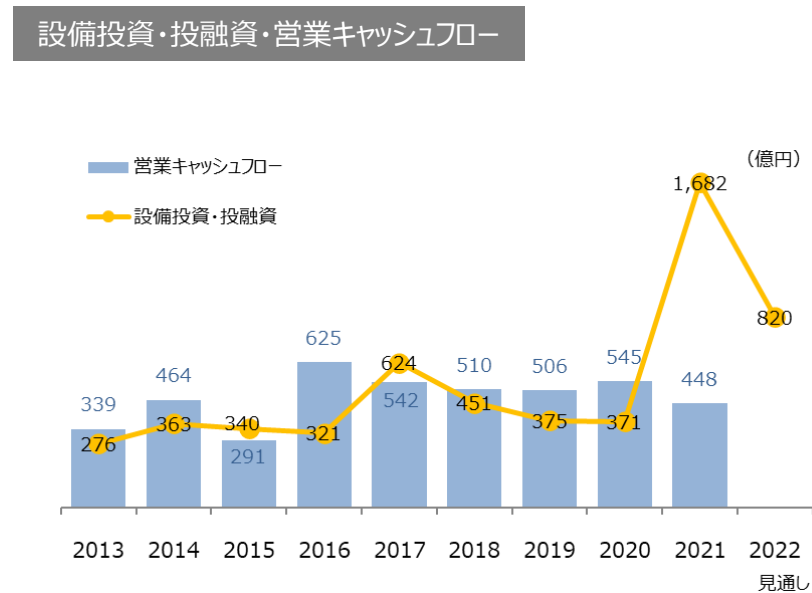


*EBITDA : 親会社株主に帰属する当期純利益 + 法人税等合計 + 支払利息 - 受取利息 + 減価償却費 + のれん償却額



利回り (%)**

1.9 2.1 2.4 2.8 2.8 3.7 3.3 3.8 3.5



* 株式併合の影響を調整しています

** 配当利回り : 年間配当金/期末の株価終値

<予想に関する注意事項>

本資料は、情報の提供を目的としており、いかなる勧誘行為を行うものではありません。
業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき、当社の経営者が判断した見通しですが、
実際の売上高及び利益は、記載している予想数値とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

当社は、業績見通しの正確性・完全性に関する責任を負うものではありません。

ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。

本資料に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、
当社は責任を負うものではありません。



Color & Comfort



DIC Corporation